

助成事業実施報告書

団体名 NPO法人 アジアキッズケア

代表者・役職名 氏名 理事長 喜安 美紀

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「子ども食堂」で困っている子供と家族・高齢者・外国人等のみんなが笑顔に!!

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

- 「子ども食堂」の支援活動を通して、コロナ禍の中で、孤立・孤独・貧困・居場所のない子供と家族、外国人、高齢者等の方々の困り感や孤立感に寄り添い、食事や食材等の提供とともに、楽しい時間と温かい居場所を提供し、物的・心的ケアの支援により健康生活の回復を図る。
- 高齢者のボランティアの方々によるまごころ込めて調理した食事の提供(会食が主体、持ち帰りも可)、高校生等と一緒に楽しいレクリエーションによる交流を提供して、参加者が笑顔や感謝等を共有するとともに、自己の存在価値や自己肯定感を感じながら、思いやりや仲間意識等の共生社会の基盤を培う。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

- 孤立・貧困・居場所のない子供と家族、高齢者、外国人、障がい者等に食事等を提供する支援により、楽しく安心できる居場所を得て健康生活の回復を図ることができた。
- 高齢のボランティアが調理して提供する食事、高校・大学生等と一緒にレクリエーション等により、参加者(受益者と支援者)が笑顔等を共有し、自己肯定感や生きがいを感じる成果が見られた。
- 困っている人々に寄り添い、自分のできるボランティアを協力して行う活動を通して、互いに助け合い支え合う共生社会の基盤づくりにつながり、支援の輪が広がってきた。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

- 「子ども食堂」等の支援活動は、孤立・貧困・居場所のない子供と家族、高齢者、外国人、障がい者等が行きたい・楽しく温かい居場所になるように、当事者の困り感やニーズに寄り添いながら、今後も関係機関と協働して毎月2回開催していきたい。
- そのためには、受益者と支援者の双方が笑顔・感謝・安心感等の成果を共有し、共に自己肯定感や生きがいを感じる事が大切であり、参加者・支援者の裾野を広げ、経済的基盤の安定を図りつつ支援を長期的に継続していきたい。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

松山福音センター & NPO法人アジアキッズケア主催

ハルヤ子ども食堂

みんなが笑顔で幸せに!!  楽しく温かい居場所に
(美味しい会食及びお持ち帰りもできます)

毎月第2・4土曜 11:30~13:30

※ゲスト出演 まつやまふくいんセンター
松山福音センター食堂
 松山市平和通 1-6-6
 TEL:089-925-1008
市内電車 平和通1丁西口徒歩
 日本郵便局前 徒歩徒歩5分

子どもは楽しい!! (ゲームや紙芝居等)もあって
大好評です!!

子どもや家族、高齢者、外国人など、どなたでも参加OKです!!
 子ども無料 (高校生まで)、大人 200円 (後期高齢者は無料)
 食材等の他、衣類、文房具、図書等を希望者に配布しています。


